

私が家の新築を考えたのは、平成21年の春、
一筋に専念していった母が他界してすぐだった。
生前の母は「今後の社会の役割に立って
人里を歩かせる」と約束して、私に、
母の葬儀を終えて落ち着いた頃、「英語教室」
と自宅を兼ねた家の新築を決め、土地と
住宅会社探しを始めた。
以前に住んでいた家が築15年を迎える
ころでもあり、売って資金の一部を使った。
以来この急が迫る中、おぼろげに。

地図を見ながら土地を探し回り、おぼろげに
目的に合う土地をさがすことが、同時
進行していった住宅会社探しについておぼろげに
苦労していった。

住宅展示場も見つけておぼろげに、おぼろげに
とある。おぼろげに私のイメージと違っていた
ので。そこで考えたのは、好みの住宅をさがす。
おぼろげに住宅会社を伺うことにした。

ある日、現在の住みか近くで、自分のイメージに
合うインテリア美容室を見つけ、そこから紹介
頂いたインテリアデザイン室を選んでみた。

その日伺って設計士高島さんにお話し
したところ、業感が湧き立つような家、
前を通るだけでも業感を感ずる様子を
お洒落の面にして頂きたいという事で
最初、ほんとうに信用してお話しして
いただくかどうか心配していましたが、お話をし
るうちに、大丈夫らしいと思え、私は最初の
設計図をお願いする事にしました。

その後出来てきた設計図は、素敵で
てくれたのですが、さらに希望をいろいろ
お伝えし、やっと完成しました。
その最終設計図の感想は“ほんとうに素敵で
家に住んでみたいから”でした。
想像していた以上にいい家です。

素人の私には、設計図を見ても立体的にイメージが湧いてこなくて、
希望のイメージをお伝えし、「間違いないかと、きっと素敵の家にして下さる」とひたすら信じてお任せして、おいた。
君島さんの何度も何度も丁寧に確認し対応して下さいました。

建築中も、大工さん始め皆さんにも感じの良い丁寧な仕事をして下さり、約半年で何の問題もなく無事完成しました。

引越してきて、最初にお隣のお家様へお礼の挨拶に、「お洒落な家ですね」と感じました。
私自身が第一目に感じたのは、家に包みこまらぬ感じが、家がパッとカリッとした構造という点に加えて、ドライウォールの壁は、壁紙に比べて暗かおと安定感を感じさせます。
何れも身体にもいいです。

漠然と思っ、猫って、に“家^α前を通る(に)
でも業^αを感じるとか、お洒落^αの家”の
実際^αに形^αと、現^α在私^αの英語^α教室
として“仕事”としてく、て、です。

生徒^αの皆^αさんと私^αの友人^αからの感想、
それ“業^α敵^αの家”です。

ここからも、訪^αして、く、(に)する皆^αさんに業^α
を感じて、(に)する場所^αとして成長^αして
いて、(に)と思^αって、です。

私^α自身も、この家^αと大切に、(に)から、人生^αと
楽しんで、参^αります。

最後に、LIV設計^αさんと職人^αの皆^αさんに
お願^αい、を申^αして、です。

建物^αを含^αに、美しい環境^αで、人^α心に
安^αらぎと落^αち着^αきと、(に)らして、く、です。

ここからも、(に)住^αんで便利^αな(に)
て、(に)可^αい、環境^αにもマッ、(に)、見^αに目
にも美しい、快適^αな建物^αと

おれは作り続けたら下さるゝと
心に希望してゐる。